

事業番号	09 04 37	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場運営費				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。					
現状	<p>○県内河川湖沼漁場においては、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、外来魚や魚食性鳥類による水産資源の減耗がみられる。また、種苗放流だけに頼らない増殖方法の普及が求められている。</p> <p>○養殖業においては、ウイルス性疾病や細菌性疾病などの魚病被害がみられる。</p> <p>○平成16年に種苗供給を開始した信州サーモンが順調に生産量を拡大する一方で(H23食用魚出荷量:250トン)、信州サーモンに次ぐ新たな大型マス類養殖品種(イワナ三倍体)の開発や信州サーモンの品質向上が求められている。</p>					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県の水産業振興に必要な場の運営に係る費用				
	県民との協働による実施: 困難					
事業内容	① 成果目標(H25)					
	<p>○水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。運営費は試験研究費、技術指導費、種苗開発費の下支えするものであることから、成果目標は他の目標と同じとする(新たな知見の獲得 7件、技術指導回数 1,000件、卵・稚魚の出荷 113万粒、288万尾)</p> <p>○本県水産業の持続的競争力とブランド力の強化につながる種苗生産能力の向上(H30年度:信州サーモン30万尾→36万尾)及び研究開発機能(耐病系信州サーモンの開発促進)の強化(6月補正)</p> <p>○本県観光資源である川魚の無病化と定着化に向けた河川放流大型種苗の供給促進(H26年度:アユ1gサイズ130万尾→1gサイズ110万尾と10gサイズの供給10万尾)(9月補正)</p> <p>○台風18号豪雨により木曾試験地河川水取水施設が埋没したため、別系統湧水取水施設からの取水を増量するための導水管等施設を増設(11月補正)</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
	運営費	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算の執行	37,969	37,301	54,016
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	種苗生産施設及びバイオテクノロジー品種開発施設の施設・設備等の整備(6月補正)	0	37,863	39,154
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	アユ種苗センターの施設・設備の整備(9月補正)	0	2,646	0
	水産試験場木曾試験地取水施設整備事業	直接	木曾試験地の湧水取水施設等の整備(11月補正)	0	0	0
	合計			37,969	77,810	93,170

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	6,300			39,899	項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		当初予算	39,253	36,466	37,969	93,170			目標	成果	達成状況	
		補正予算		2,992	80,450		新たな知見の獲得	7件	7件	7件	達成	7件
		合計(A)	45,553	39,458	118,419	133,069	技術指導回数	1,200件	1,000件	1,343件	達成	1,000件
	Aの財源	国庫支出金			60,500	19,949	卵の出荷	122万粒	113万粒	133万粒	達成	140万粒
		県債					稚魚の出荷	222万尾	288万尾	209万尾	未達成	199.5万尾
		その他(諸収入等)	895	3,534	3,299	39,740						
		一般財源	44,658	35,924	54,620	73,380						
		決算額(B)	81,001	39,458	77,810							
概算人件費	職員数(人)	4.70	4.70	4.70	4.70							
概算人件費(C)	38,813	38,813	38,813	38,813								
概算事業費(B(A)+C)	119,814	78,271	116,623	171,882								

(注)23年度決算額(B)は水産試験場費総額

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 水産試験場の保守・管理及び予算執行を適正かつ円滑に行うことで、県内水産業の発展に寄与する新たな知見の獲得、技術指導、種苗生産等の成果目標を概ね達成した。 稚魚の出荷数については、業界の要望に応じて一部の種苗サイズを大きくしたため、出荷尾数は目標を下回ったが、業者の希望尾数は確保できた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	種苗サイズについては、平成26年度予算で見直しを行った。今後も県内の水産業振興に寄与する水産試験場の試験研究、技術指導、種苗開発を下支えするため、場の保守及び維持管理を適切に行い、予算の適正な執行に努める。